

## 【御案内】

# 令和元年度岡山県総合教育センター 教育研究発表大会

教育研究発表大会では、当総合教育センターの教育研究の成果や学校を支援する取組等を紹介し、情報の共有や研究協議を通して、岡山県の教育の充実を図りたいと考えています。

### 記

日時 令和2年2月15日(土) 10:00～15:30

会場 岡山県総合教育センター

〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川7545-11  
TEL (0866) 56-9101[代表] FAX (0866) 56-9121[代表]  
Webページ <http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/>



### 日程

9:30	受付開始
10:00	開会行事
10:20	基調講演 講師 大原美術館 理事長 大原あかね 氏 演題 「キテ、ミテ、カンジテ、大原美術館」
12:00	昼食・休憩
12:50	3分科会 【所員発表Ⅰ】(70分) ・ミドルリーダー研修の研修成果を活用した校内での職能成長に係る実態調査 (教育経営部、最終報告) ・新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導と評価に関する研究 (教科教育部、最終報告) ・小学校プログラミング教育に関する研究～プログラミング的思考を育成する授業づくり～ (情報教育部、最終報告)
14:00	移動・休憩
14:15	5分科会 【所員発表Ⅱ】(70分) ・不登校やいじめ、暴力行為等を生まないための学校づくりに関わる校内研修パッケージの開発Ⅲ (生徒指導部、最終報告) ・通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒の指導・支援に関する研究～多様な学びの場ガイドブック作成～ (特別支援教育部、中間報告) 【長期研修員発表】(40分)*終了次第解散 ・総合的な学習の時間における小学校プログラミング教育の一考察～地域学習を通して～ (奈義町立奈義小学校) ・生徒が家庭学習に意欲的に取り組むための指導の工夫 (井原市立木之子中学校) ・学力の定着を図るための、つながりをもたせた英語4技能5領域指導 (岡山県立西大寺高等学校)
15:30	閉会

※研究テーマは仮題です。変更する可能性があります。

## ■ 開会行事

10:00 ~ 10:20

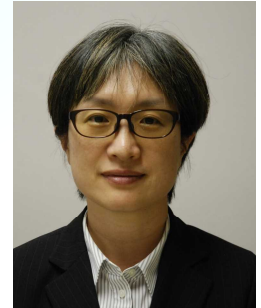
## ■ 基調講演（全体会）

10:20 ~ 12:00

講師 大原美術館 理事長 大原あかね 氏  
演題「キテ、ミテ、カンジテ、大原美術館」

文化・芸術は存在するだけで価値のあるものです。それでも、「美術館」という「場」を考えたとき、そこはただ絵画や彫刻などの作品を展示・保存・研究するだけの「場」ではありません。例えば、学びということ考えたとき、みんなが正解の場、というのは当たり前ですが、他にも美術館でどのような学びを実践しているかについて事例とともにお伝えします。そして、皆様と「新しい学びの場」としての美術館について考えてみたいと思います。

キーワード 存在することに意味がある、みんなが正解、学びの場



## ■ 昼食

12:00 ~ 12:50

## ■ 3分科会 【所員発表Ⅰ】（70分）

12:50 ~ 14:00

○人材育成に関わる研究（教育経営部 指導主事 杉田 静）

申込み番号→

1

「ミドルリーダー研修の研修成果を活用した校内での職能成長に係る実態調査」

大量退職・大量採用時代、ミドルリーダーの役割が重要度を増しています。校内チーム制(OJT)を活用しながら、学校組織全体の変容を図っていく場合、どのようにミドルリーダーを育成するのも大きいと考えられます。岡山県では、平成25年度から総合的ミドルリーダー研修、平成28年度から教科指導ミドルリーダー研修が始まり、ミドルリーダーの育成に力を注いできました。そのミドルリーダー研修修了者の職能成長の実態をまとめ、検証するとともに、他県や企業との比較等から、ミドルリーダーの効果的な育成の手法を明らかにします。

キーワード ミドルリーダー、育成手法

○児童生徒の学力向上（教科教育部 指導主事 室川 基）

申込み番号→

2

「新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導と評価に関する研究」

小学校では、いよいよ来年度から新学習指導要領が全面実施です（中学校はR3年度、高等学校はR4年度から年次進行で実施）。今、求められている資質・能力を確実に育成するためには、指導と評価の一体化が必要です。教師がねらいに応じて、授業における児童生徒の学びの姿を見取り、学習指導の改善に生かすことが大切です。

今年度は、学習評価の基本的な考え方や小・中学校の全教科・領域等における評価の具体的な進め方等を分かりやすく紹介します。

キーワード 指導と評価の一体化、観点別学習状況の評価、主体的に学習に取り組む態度

○児童生徒の学力向上（情報教育部 指導主事 浅野 雄一）

申込み番号→

3

「小学校プログラミング教育に関する研究

～プログラミング的思考を育成する授業づくり～

いよいよ来年度から小学校プログラミング教育が必修化されます。2019年度に県内各地域で収集した実践事例（中堅研3名の実践発表を含む）を通して、プログラミング的思考を育成する授業づくりのポイントを紹介し、実践で使用した教材に触れていただくプログラミング体験コーナーも設けます。

キーワード プログラミング的思考、試行錯誤、新学習指導要領、みらプロ（協力企業と連携した総合的な学習の時間）

## 5分科会 【所員発表Ⅱ】(70分)

14:15 ~ 15:25

### ○問題行動等への対応 (生徒指導部 指導主事 小田 哲也) 「不登校やいじめ、暴力行為等を生まないための学校づくりに

申込み番号→

11

#### 関わる校内研修パッケージの開発Ⅲ

生徒指導部では、生徒指導についての校内研修を容易に実施できる校内研修パッケージを開発しています。昨年度は、学校の課題にさらに幅広く対応し、より学校の実態に即した校内研修の充実を目指す視点から、新たに2つの校内研修パッケージを提案しました。今年度は、完成した「保護者との関係づくりパッケージ」と「授業における生徒指導の進め方パッケージ」について紹介します。

キーワード 生徒指導、校内研修、自己指導能力を育むための三つの留意点、保護者との関係づくり

### ○特別支援教育の推進 (特別支援教育部 指導主事 山根 亮) 「通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒の

申込み番号→

12

#### 指導・支援に関する研究～多様な学びの場ガイドブック作成～

今、共生社会の形成に向けた「インクルーシブ教育システムの構築」のために連続性のある「多様な学びの場」の在り方に関する情報提供が必要とされています。そこで、本研究では、通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童・生徒の適切な理解に基づいた「通常の学級」、「通級による指導」の場における指導・支援や場同士の連携、また、交流及び共同学習の在り方について明らかにし、ブックレットにまとめます。今年度は、聞き取り調査から明らかになった現状と課題を報告し、ブックレットの内容や構成についての方向性を提案します。

キーワード 多様な学びの場の充実、共生社会の形成、インクルーシブ教育

## 【長期研修員発表】(40分)\*終了次第解散

14:15 ~ 14:55

### ○小学校 (奈義町立奈義小学校 教諭 藤井 宏光) 「総合的な学習の時間における小学校プログラミング教育の一考察

申込み番号→

21

#### ～地域学習を通して～

2020年度より小学校では、プログラミング教育が必修化となり実施されます。本発表では、総合的な学習の時間における既存の学習活動の中に、プログラミング教育を取り入れた授業実践の一考察を提案し、研究によって得られた成果と課題について紹介します。

キーワード 小学校プログラミング教育、総合的な学習の時間、地域学習、地域貢献、課題解決

### ○中学校 (井原市立木之子中学校 教諭 中川 智裕) 「生徒が家庭学習に意欲的に取り組むための指導の工夫」

申込み番号→

22

生徒が家庭での学習に意欲をもち、学習習慣の確立と学習内容の定着を図るためには、Cycle&Feedbackの考えを基にした授業と授業をつなぐ家庭学習の与え方や内容の工夫を行うことが大切です。本発表では、中学校数学科における家庭学習指導の実践的モデルを紹介します。

キーワード 家庭学習指導、Cycle&Feedback、学習意欲、実践的モデル

### ○高等学校 (岡山県立西大寺高等学校 教諭 岡崎 正宏) 「学力の定着を図るための、つながりをもたせた英語4技能5領域指導」

申込み番号→

23

学力の定着を図るためには、英語4技能5領域指導においてそれぞれの「つながり」をもたせることが重要です。本発表では、つながりの具体と、つながりをもたせた英語4技能5領域指導の有効性について紹介します。

キーワード 高校英語教育、英語4技能5領域、学力の定着、つながり

※研究テーマは仮題です。変更する可能性があります。

## 閉会

15:30

## ◇ 交通の御案内

### 1 自家用車等

- ・山陽自動車道 岡山 I C から 約 35 分
- ・山陽自動車道 岡山総社 I C から 約 35 分
- ・岡山自動車道 賀陽 I C から 約 15 分
- ・岡山空港から 約 25 分

### 2 チャーターバス

( J R 岡山駅運動公園口 ( 西口 ) からの無料直行便 )

乗車場所等はセンターの Web ページで御確認ください。御利用の際は、「行き」「帰り」とも必ず御乗車ください。途中下車はできません。

行き	J R 岡山駅運動公園口 ( 西口 ) 発車時刻	8:30
帰り	岡山県総合教育センター 発車時刻	15:50

※行き、帰りとも、一便のみの運行です。

### 3 公共バス路線

- ・ J R 岡山駅から ( 中鉄バス )
  - ・ J R 備中高梁駅から ( 備北バス )
- ※便数が少ないので時間をよく確認の上、御利用ください。



## ◇ 参加申込み

- 申込み方法 (1) 岡山県電子申請サービスの場合 岡山県総合教育センター Web ページ (<http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/>) から「令和元年度教育研究発表大会」に移動し、「岡山県電子申請サービスによる申込み」を選択してください。専用ページに移動後、「利用者登録せずに申し込む方はこちら」をクリックし、画面下の「同意する」をクリックすると電子申請の画面が開きますので、画面の指示に従って申込みを行ってください。  
(2) F A X の場合 参加申込書に必要事項を記入の上、岡山県総合教育センター [FAX (0866) 56-9121] に送信してください。  
(3) 郵送の場合 参加申込書に必要事項を記入の上、次の宛先へ郵送してください。(必着)  
〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川 7545-11  
岡山県総合教育センター教育研究発表大会係
- 申込み期限 令和2年2月3日(月)
- その他 (1) 基調講演は全体会として行い、発表は全て分科会形式で行います。分科会への参加を希望される場合は、申込みの際に参加希望の 分科会番号 (1~3, 11~12, 21~23) を御記入ください。  
(2) 弁当の販売はありませんので、昼食は各自で御用意ください。  
(3) チャーターバス ( J R 岡山駅運動公園口 ( 西口 ) からの無料直行便 ) の御利用を希望される場合は、申込みの際に御記入ください。

## ◇ 問い合わせ先

岡山県総合教育センター 教育研究発表大会係・塚崎 TEL (0866) 56 - 9101 [代表]